

《4年生の生活について》

修士1年の礒部理央が紹介します！

4年生は国家試験のほか、病院実習や卒業研究等様々な行事があり、3年生までとは生活も大きく変わる年になります。

・病院実習について

病院実習は、3年生の後期～4年生の前期の一年間あります。感染症対策で時間を分散していたため、4年生の時は週4日半日という日程で行いました。主に大学病院での実習で、週ごとに各モダリティをまわります。基礎的なことがわかっていないと実習で得られるものが減ってしまうため、予習は必須になります！病院内の様子や、放射線技師が普段どのような仕事をしているかを実際に見ることができ、非常に有意義な実習でした。



・卒業研究について

3年生の冬に分野配属が決まります。分野により研究の開始時期が異なりますが、病院実習が終わった夏～秋にかけての時期に本格的に始まることが多いと思います。私が所属していた放射線検査学分野では、配属後すぐに論文探しや実験がスタートしました。また、11月末～12月ごろに行われる卒業研究発表会の前には学会発表もあったため、実習と並行してデータ整理や追加実験を行っていました。実験結果を見ながら先生や分野の同期と話し合い、考察を深めていくのが楽しかったです！

コロナ対策を十分した上で学会に参加しました！



↑4年生の時は、熊本に行ってきました

・国家試験について

2月の中旬には国家試験が控えています。私は、卒業研究が終わった後から国試勉強を本格的に始めました。コロナの関係で大人数での勉強はできませんでしたが、たまに友人と勉強しながらわからないところをとことん見つけて苦手分野をなくすようにしました。また、試験勉強の合間には好きなアイドルの曲を聴いたり、動画を見たりして、適度に息抜きするようにもしていました。